日中友好新聞

府連通信

2012年１２月号
日本中国友好協会大阪府連合会
〒530-0013
大阪市北区
茶屋町10-6
阪急北ビル４階
TEL06-6372-8131
050-3413-6491
FAX06-6372-8132
郵便振替口座
00970-5-8978
E-mail:jcfa@jt8.so-net.ne.jp
ホームページ
http://www005.upp.so-net.ne.jp/jcfaosaka/

理事会で仲間づくりなどを討議
「これからの日中関係」で講演会

大阪府連・第一回理事会が、二日「府連大会以降半年間、どのように実践してきたか、来年の大会までの活動の重点をどこに置くか」をテーマに開催されました。定数二五名のうち一七名の出席でした。

渡辺会長は「日中関係回復のためには、外交交渉による平和的解決のために努力」との協会の立場を強調し「『漫画展』の取り組みで発揮された勢いで「こんな時だからこそ日中の出番」を合言葉にすすめていきましょう。」と開会あいさつ。

松尾理事長から「漫画展」では、府内民主団体へ案内依頼を行ない成功した、中国語受講生は若干の落ち込みはあるものの、今期も順調にとりくまれていること等が報告されました。

「中国の関心にこたえる活動」として、二月に市民向けの今後の中国と日中関係を知る学習講演会の開催などが提案され、府連規約の整備も次期大会に提案することが承認されました。

「仲間づくりと組織強化・拡大」は、会員・準会員の力も借りて、千名会員、当面七百名の組織を築こうと確認されました。

十一月の本部理事会で確認された来年の京劇全国公演や「規約改正の検討について」も報告され、提案された議案、発言も含め拍手で承認されました。

府連事務局の状況について、体調不良で療養中の高瀬事務局長に替って澤野井事務局次長が事務局長代行として業務を遂行していくことが確認されました。

二部の学習会は「党大会後の新状況と日中関係」をテーマに山本恒人副会長が、中国共産党第十八回大会で選ばれた新指導部の特徴や、大会決定とその背景、今後の日中関係はなど項目ごとに詳しく説明されました。

参加者からは講義の内容は、中国の社会状況・貧富の格差や中国経済の動き、汚職・腐敗の実態などが詳しく説明され、よく分かったと好評でした。

選挙戦での尖閣諸島の論戦
中国人民網が領土問題を報道

選挙戦も最終盤ですが、各党の領土問題、特に尖閣諸島に関する論戦は低調です。

十一月三十日の日本記者クラブ党首討論会では、釣魚島（日本名・尖閣諸島）問題への対応など対中政策も主要議題の一つとなったと「人民網（日本語版）」（十二月二日）が各党の領土問題公約を報道しています。

民主党は自民党の打ち出した釣魚島への公務員常駐については「日中関係にもたらす影響を考慮し、中国に対する不必要な刺激は避けるべきだ」と表明。

自民党は釣魚島の「国有化」に全面的な支持を表明する一方で、民主党の対中政策を批判し「中国に遠慮し続けてきたことで外交上の失敗を招いた」と述べ、釣魚島の実効支配を強化する意向を表明した。

維新の会は日中関係悪化への責任は自民党にあり、係争棚上げが間違いだった。さらに釣魚島への灯台や船だまりを建設することを主張した。

日本共産党は釣魚島問題について、冷静に外交交渉を通じて解決すべきだと主張した。各党の主張を紹介し関心を寄せています。

干支色紙講習会

十二月五日、西支部主催の干支色紙・きりえ教室が稲田雪男さんを講師に開かれました。注意事項を聞きながら初心者用とベテラン用二つの図案が準備され、それぞれアレンジしながら、「巳」年の干支色紙が出来上がりました。

2013年太極拳新春初けいこ

①　日中大阪府連主催・1/6(日)9：00～
北スポーツセンター（阪急・地下鉄中津駅）
②　日中守口支部主催・1/14(祝)10：00～
守口市民体育館・柔道場(京阪守口市駅前)

太極拳の好きな方、どちらの会場でも参加ＯＫです。

参加費：1,000円、２４式・４８式など

中国「残留孤児」配偶者の生活支援を求める請願署名！

残留孤児の生活は、新支援法により改善されましたが、中国「残留孤児」が死亡した後も、配偶者がその生活水準を維持できるよう、新支援法を改正して、手厚い支援を求めて請願署名を集めています。

みなさんのご協力をお願いします。

連載の経済トピックスは今月第五回で終了です

八月号から連載されていました、山本恒人さんの経済トピックスは、中国経済の現状と中国共産党大会での新指導部の動向をまじえての連載で掲載内容は①経済成長と鈍化傾向の実態は②伸び悩む消費、格差拡大傾向に歯止めかからず　③国有経済が民営経済を圧迫「国進民退」か④国有企業は誰のもの、利益の国民への還元は　⑤中国共産党大会の「所得倍増」政策の重要性、の五回でした。

大阪マラソンを走りました　三万人が浪速の街を駆ける

晴天に恵まれた十一月二五日、「みんなでかける虹」をスローガンに大阪城公園前をスタートし、インテックス大阪前をゴールとする「第二回　大阪マラソン」が開催されました。西支部の浜田文雄さんから、完走したよろこびのレポートです。

『当日は朝九時スタートなので大阪城公園に七時半到着、着替えて荷物を預けスタート位置に八時半に集合です。九時にスタートの合図がスピーカーから聞こえましたが、スタートラインを十二分後に、やっと走りだしました。後ろにまだ大勢いたので、一般では早いほうだと思います。

天気が良かったので気分良く快走、最初はゆっくりゆっくりです。タレントの周りにはＴＶカメラがいたり、少し走りにくかったです。御堂筋を北へ向いた地点で、ガリクソンを抜き、御堂筋を南へ走る十五キロ地点で、吉本の石田靖も追い抜きました。調子が良かったのはそこまで、給水時に歩く時間が長くなり二六キロ過ぎには足がとまり、残り十六キロはほとんど歩きです。完走時間は五時間三九分、なかなか五時間を切れません。

今回は、八月はじめにテニスの練習で、左足ひざをラケットで叩いた痛みが、十月末まで治らなかったので練習不足でした。無理せず歩いての完走を予定していましたのでのんびり楽しみました。ダメージも少なかったので、翌日のテニスも普通にできたのも良かったです。来年はしっかり練習して五時間を切りたいです。』

中国経済トピックス⑤

副会長・山本恒人

中国共産党大会の所得倍増政策の重要性

中国共産党第十八回大会は、今後十年間に「国民の収入を倍増すること」および「経済発展パターンを転換」し、投資主導型から消費牽引型の経済発展への転換を促すことを決定しました。この方向性は全く正しいものです。トピックス①では投資が国民総生産（ＧＤＰ）に占める過大な割合、②ではＧＤＰに占める消費割合が縮み続けており、そのことは経済格差の拡大を反映していること、また経済の持続的成長の制約となっていることを示しました。

中国の社会階層分類は五段階上層一、五％、中上層三、二％、中層十三、三％、中下層六八％、下層十四％で表されますが、「中下層」は産業労働者、農民工、農民、「下層」は都市失業者群と困窮農家とで構成され、就業人口七億九千万人の八二％、六億七千万人を占めていることになります。「上層」とは中央・地方の政府、国有企業など指導者層、私営大企業家で千二百万人です〔中国の研究者「楊継繩」著書〕この分類は所得、権力、社会的評価を総合評価したものですが、国民消費の低迷の根拠を示すものでもあります。

国民の「所得倍増」目標を本当に達成するには、全体を底上げすることと経済格差縮小とを連動させなければなりません。個人ベースでは、個人所得税の低い捕捉率、累進課税の不徹底を改め、固定資産税や相続税を創設すること、法人ベースではとくに国有企業の過大な内部留保を国庫に吸収するなど、所得再分配システムを確立することが大切です。国有企業だけが得をするという歪んだ金融制度を改めなければなりません。

そうなれば、地方政府が農民からの土地収用とその開発で財源を作ることが引き起こす農民との対立・紛争という事態も減ることでしょう。汚職と腐敗も少なくなるでしょう。

すなわち、大会決定が掲げる「人民の主体的地位」が基本という原点に立ち返った経済運営こそが課題となっているのです。経済成長を根本で支えている労働者・農民・農民工の待遇が改善され、経済成長の成果を分かち合っているという実感を持てることが今一番大切なことなのです。一部の守旧派幹部が唱えるような「毛沢東時代に回帰せよ」というのは大間違いです。中国の国民は「貧しさの平等」などを望んではいないのです。

年末募金にご協力を

中国語講座の生徒数の減少や、日中会員の減少などで、大阪府連財政が厳しくなっています。

経費節減などにもとりくんでいますが、財政強化のため、年末募金にご協力をお願いします。

漫画展募金ありがとう

十一月号で募金を寄せていただいた団体名は紹介しましたが、個人募金の方々を今号でご紹介します。団体募金・十八団体と個人募金五四名、会場募金と合わせて二十九万円を超える協賛金や、募金を寄せていただきました。ありがとうございました。

西村成雄、長谷川八坂、榊　正明、白石鉄雄、布川雅章、藤本直枝、吉本喜代子、浜田　征、立川孝信、土井一正、廣原資泰、玉川和隆、古田真佐子、杉谷和子、山本恒人、森　雅克、大谷茂義、吉田光子、松野弘太郎、渡辺　武、上村康夫、鰺坂　真、薮田ゆきえ、東垣内清、宮本福夫、小野邦也、梁田憲二郎、畑沢　進、北野英夫、野路八郎、大森輝夫、押川直孝、野口政廣、石川元也、西川治郎、竹谷修三、梅本啓子、小林徳子、大島彰吾、大塚睦子、高橋　朗、今橋巳佐子、茶園真炎、長尾正典、光吉道子、梅川　勉、瀬藤たみ子、栗山俊子、平松悦雄、澤野井公夫、片山英徳、久保田真理子、大西　武、松尾豊

（敬称略・順不同）